

〈佐呂間町民憲章〉

たがいに助け合い

あたたかく幸せなまちをつくります

62.12



晴れの受賞おめでとございます

表彰式



今年度の町功労者表彰式が十一月三日の「文化の日」に町議事堂において、来賓多数の出席のもと行われました。

この表彰は、町褒賞条例により、住民の模範となり、顕著な功績のあった方々に贈られるもので、今年は社会福祉・産業・消防の各分野において、それぞれ長年に亘り活躍され、本町の発展に貢献された五名の方々が受賞されました。受賞されました方々には心からお祝いを申し上げます。

社会福祉功労者

永代町 中村 幸枝氏（六十五歳）



佐呂間町母子会会長として、永年に亘り、組織の運営、会員の自力更生に尽力されました。

町功勞者

産業功勞者

知来林 一郎氏（六十五歳）



農業委員、佐呂間町農業協同組合理事、てん菜耕作組合長、自治会連合会長、その他を歴任、産業の振興に尽力されました。

産業功勞者

永代町為 広好 孝氏（六十二歳）



農業委員、佐呂間町農業協同組合参事等を歴任し、産業の振興に尽力されました。

産業功勞者

知来伊藤 正己氏（六十一歳）



農業委員、佐呂間町農業共済組合長等を歴任し産業の振興に尽力されました。

消防功勞者

若佐嶋田 博氏（六十二歳）



消防団分団長等を歴任し、消防活動と団員の育成、運営に尽力されました。

昭和62年度 主な事業

今年も十二月を迎え残すところあとわずかになりました。

町では、総合計画に基づいてその事業の緊急度、整合性等を考えあわせながら住みよい豊かな町づくりのため、本年度も、佐呂間小学校新築工事、佐呂間地域コミュニティセンター新築工事、公営住宅、浜佐呂間保育所の建設をはじめ、農業基盤整備事業や町道整備事業等大きな事業も計画的、継続的に進められてきました。

その中から主な事業について実施状況をお知らせします。



〈道営営農用水事業〉（知来浄水場）



〈拓栄川災害復旧工事〉



〈佐呂間バスターミナル〉

本年度主な事業



〈公営住宅新築工事〉



〈浜佐呂間保育所新築工事〉



〈佐呂間基地道路特改4種工事〉

産 業 関 係 の 他	団 体 営 草 地 開 発 整 備 事 業	大成第1 牧 野	草地造成改良工事A=33.2ha 用排水施設工事A=1.8ha 雑用水施設工事L=70m	12,061	％～％
		栃木第2 牧野外1	草地造成改良工事 A=9.7ha	7,000	％～％
	さろます飼育施設 設 備 工 事	仁 倉	養殖池 1基 60m ² 池上屋 1棟 149m ²	11,900	％～％
		富 武 士	コンクリートブロック造 延 32.98m ²	13,900	％～％
	幌岩山周辺遊歩道 設 置 工 事	幌 岩	L=2,300m W= 1.5m	22,300	％～％
そ の 他	町有バス車庫新築工 事	幸 町	鉄骨造延 312m ² 外構工事 446m ²	37,600 4,190	％～％ ％～％
	サロマバスターミ ナル 新 築 工 事	幸 町	鉄骨造延 204.93m ² 外構工事	38,000 17,710	％～％ ％～％
	佐呂間町地域コ ミュニティセンター 新 築 工 事	永代町	鉄骨造2階建 延 954,267m ²	188,700	％～％

工 事 名	箇 所	工 事 量	工事費	工期
工 営 関 係	拓 栄 川 災 害 復 旧 工 事	川 西 復旧延長 L= 620m A=4,123m ²	51,770	％～％
	佐 藤 の 沢 川 災 害 復 旧 工 事	共 立 復旧延長 L= 557m A=2,193m ²	29,260	％～％
	西富若里幹線道路 凍雪害防止工事	北 (第1工区) 改良 L=760m W=5.5m (第2工区) 改良 L=700m W=5.5m	33,750 42,000	％～％ ％～％
	佐呂間墓地道路特 改 1 種 工 事	西 富 改 良 L=361m W= 4.0m	23,200	％～％
	佐呂間墓地道路特 改 4 種 工 事	西 富 (その1) 舗装 L=200m W=4.0m (その2) 舗装 L=109m W=4.0	9,050 5,000	％～％ ％～％
	西富若里幹線道路 特 改 4 種 工 事	西 富 舗 装 L=285m W= 5.5m	9,300	％～％
	踏切撤去道路復 元 工 事	北 外 踏切撤去 9箇所	11,450	％～％
	湧網線代替及び関 連道路改良舗装工事	永代町 代替 L=60m W=8.0m 関連 L=90m W=5.5	12,600	％～％
	佐呂間町総合公園 整 備 事 業	西 富 観賞池、ジャブジャブ池、 プロムナード	48,000	％～％
	公営住宅新築工事	西 富 簡易耐火2階1棟8戸	64,240	％～％
民 生 関 係	浜佐呂間保育所新 築 工 事	浜佐呂間 木造平屋建 延 364.5m ²	34,900	％～％
	佐呂間簡易水道配 水管移設工事	佐 呂 間 街 L=2,502m	57,150	％～％
	若佐簡易水道導 水管移設工事	栃 木 L=337.2m	8,350	％～％
	佐呂間小学校新 築 工 事	幸 町 鉄筋コンクリート造 3,448m ² 給排水、衛生設備外 受配電、視聴覚放送設備外 (2箇年継続事業)	632,500	％～％ ％～％
教 育 関 係	佐呂間小学校校 グラウンド整備工事	幸 町 吸水及び集水管 L=1,415m	4,540	％～％
	若佐中学校音楽 教室拡張工事	中 園 A= 86.4m ²	1,800	％～％
	道 営 畑 地 帯 総合土地改良事業	北富地区 農道舗装 L=1,150m 農道改良舗装L=1,030m 明渠排水 L= 798m	220,000	％～％
		栃木地区 農道改良 L= 960m 明渠排水 L= 496m	130,000	％～％
産 業 関 係	道営農免農道整備 事業	富丘地区 農道改良 L=1,000m	80,000	％～％
	道営過疎農道整備 事業	知来地区 農道改良 L= 355m	34,000	％～％
	道営明渠排水事業	共立第4 地 区 明 渠 L= 182m	9,240	％～％
	道営営農用水事業	大成地区 調査設計	20,000	％～％
		知来地区 浄水場一式	115,700	％～％
	団 体 営 土 地 改 良 綜 合 整 備 事 業	武士第2 地 区 外6地区 農道舗装 L= 512m 農道改良 L=1,556m 橋 梁 工 L= 12.5m 営農用水 施設 1式 管路L=847m 農業用排水路 L=326m	189,190	％～％
	佐呂間地区公共 育成牧場整備事業	大成第2 牧野地区 草地整備改良工事 A= 43.1ha 用排水施設工事 A= 3.7ha 隔障物施設工事 L=8,739m 家畜保護施設工事 1棟 36.99m ² 衛生管理施設工事 1棟 36.62m ² 乗降場施設工事 3基 電 話 施 設 1台	51,397	％～％

きごの会議

第七回 臨時町議会

第七回臨時町議会が十月
二十七日開会され、条例、
予算、工事請負契約の締結
などが議決されました。

条 例

▼条例の制定

●佐呂間町営バスの設置及び運
行に関する条例の一部を改正
する条例制定について

原案可決

佐呂間バスターミナル完成に
伴い、町営バスの待合所及び発
着所が移転されます。

予 算

●昭和六十二年佐呂間町一般
会計補正予算（第九号）

原案可決

三百二十六万二千円が追加さ
れ、予算の総額が四十六億九千
三百九十七万五千円になりました。

主な補正額（千円以下繰上げ）

（才入）

・国鉄湧網線転換交付金

百十六万五千円

・交通安全対策特別交付金

百二万八千円

（才出）

・代替バスターミナル用備品購
入費

百十六万五千円

・畜肉加工センター建設用地購
入費

四百五十万円

・町有林特別会計繰出金

△二百六十三万六千円

●昭和六十二年佐呂間町町有
林特別会計補正予算（第四号）

原案可決

二百六十四万九千円が追加さ
れ、予算の総額が四千八百九十
二万九千円になりました。

主な補正額（千円以下繰上げ）

（才入）

・素材売却収入

五百二十八万五千円

・一般会計繰入金

△二百六十三万六千円

第7回臨時町議会 町 長 行政報告 (要旨)

●物置の火災に ついて

ついで

・直営造材委託料
二百六十四万九千円

工事請負 契約の締結

次のとおり工事請負契約が締
結されます。

●西富若里幹線道路凍雪害防止
工事（第二工区）

原案可決

・契約の方法 指名競争入札
・契約の金額 四千二百万円

九月三十日十二時三十分頃、
福祉会館横の現在物置きに使用
していた元助役住宅から出火し
木造二階建ての建物が全焼いた
しました。

遠軽警察署の調べによります
と、ダイヤガラスの入った窓ガ
ラスが日光の直射を受けて、反
射したために自然発火したもの
と出火原因の解決を見た訳であ
ります。

また、被害については、保健
衛生係の薬品、蜂の駆除に着る
被服等が火災によって一部使用
出来なくなりましたが、重要な
物件は保管されてなかったとい
うことであります。いずれにい
たしましても人為的ではありません
でした。が、もっと徹底した
管理が必要であったと考えてお
ります。

●温泉ボーリングに ついて

温泉ボーリングについては、
温泉の水量、温度について試験
を続けているところであります
が、今のところ三十度以上の水
温で毎分百リットルの水量が出
ており、もう少し試験を続けて
行きたいと考えております。

・契約の相手方

株式会社 岸 組

専決処分

●昭和六十二年佐呂間町一般
会計補正予算（第八号）

承認

才出予算の増減によるもので
予算の総額に変更はありません

主な補正額（千円以下繰上げ）
（才出）

- ・西富若里幹線道路用地測量委託料 △九十万円
- ・西富若里幹線道路凍雪害防止工事 三百七十七万円
- ・佐呂間墓地道路特改一種工事 △二百八十四万円
- ・佐呂間三十号道路舗装工事 △三万円

意見書

●第十次道路整備五か年計画の
投資規模の確保に関する要望
意見書 原案可決

提出議員 川又、福田、中谷
千葉（清）、定久
上杉議員

第八回

臨時町議会

第八回臨時町議会が十一

月十四日開会され、予算な
どが議決されました。

予算

●昭和六十二年佐呂間町一般
会計補正予算（第十号）

原案可決

二億三千七百七十六万六千円
が追加され、予算の総額が四十
九億三千七百七十四万一千円に
なりました。

主な補正額（千円以下繰上げ）
（才入）

- ・普通交付税 七百七十六万六千円
- ・財政調整基金繰入金 二億三千万円

第8回臨時町議会 町長 行政報告 （要旨）

●国民健康保険関係 について

十一月五日に全道の国民健康
保険の大会がございまして、医
療費の増加に伴う財政の問題を
中心に議論をいたしました。

特に本年一月から実施されて
います老人保健拠出金の算定方
法の中の調整対象外医療費に係
る率の撤廃の問題で、全国平均

（才出）

- ・電気料 七十万二千円
- ・温泉湯湯用動力電気工事 九十六万四千円
- ・温泉源権利取得費 二億三千万円
- ・温泉湯湯施設備品購入費 六百万円

を基準にするのは、本道につい
ては適当でない。そういう主張
を全道的に六十三年度予算に向
けて、年内に全国的な大会をも
って運動を進めることになった
訳でございます。

●サロマ湖口の 問題について

サロマ湖口を第四種漁港に、
つまり避難港に指定してもらう
ように、サロマ湖開発期成会を
主体に運動して来ております。

明年から始まる第八次漁港
計画に入れてもらいまして、サ
ロマ湖口の第四種漁港実現に向
けて努力をいたしたいと考えて
おります。

●北見、栃木間広域 農道の建設につ いて

北見から栃木に出る広域農道
の建設について、北見市からは
非一緒という話がありまして
先般現地に行つてまいりました
現地を見て国道三三三号線と
の関係もあり、どの様な効果が

ご意見・ご希望を
お寄せ下さい。

議会や議会のうごきに対する
ご意見・ご希望をお待ちしております。

あるのか判断しなければいけな
いと思いますが、裏側には北見市
が現在工事を行っておりますの
で、なるべく早く本町の意志決
定をしてほしいという話でござ
います。現段階での町長とし
ての考え方は、まだまとめてお
りませんが、議会としても時間
をかけて検討していただきたい
と考えております。

一般質問

九月二十一日から二十二日まで開かれた第三回定

例町議会において四名の議員が質問をしました。

そのあらましは次のとおりです。

行政

★国有林経営合理化

問題について

○室井議員

昨年十二月林政審の最終答申が出され、それを受けて政府は七月三十一日の閣議において大幅な合理化を断行するように成ったようであります。

先般、佐呂間営林署長が、町長に合理化について説明があったと聞いていますが、佐呂間営林署はどのようなのか。ま

た、それに対しどのように受け止められておられるのか。またどう対処されるのですかお伺い致したい。

今日、町の活性化に莫大なエネルギーをかたむけているところ。森林の活性はもちろんです。何としても人口減をくいとめるべきです。町をあげてこの合理化に歯止めをすべきと思います。如何お考えでしょう。

○町長

八月末に林野行政協議会が開かれましたが、北見営林支局では改善実施計画を作り林野庁の承認を得ているようでございますが、計画では、職員数を二千七百名から六十九年度までに九

百五十名位にしようというようなことで、この問題については朝日新聞で報道されている訳でございます。

営林署の廃止については、一町村に二署ある所、また、都市の営林署が対象になっているようであり、佐呂間営林署については簡単にないならないであらうと考えております。

また、森林の経営については職員減少に伴い作業は民間に移譲されるということで、なぜやりになるというような心配はいらないだろうと考えております。本町で関係するのは、要員の問題とそれから苗圃については或いは縮小の対象にならざるを得ないかもしれませんが、町といたしまして、これから強く要望して行きたいと考えております。

★旧国鉄湧網線の用地の処分について

○定久議員

(1)湧網線の用地については、先に、関係者に購入の希望の有無について問い合わせがあり、その後、駅跡地の取り片付け作業が行われているようですが、そ

の他の所はそのままの状態になっているようです。

処分の方法について現在までの経過と、今後の見通しについてお伺い致します。

(2)旧国鉄用地は、市街地以外は利用価値が非常に低いと思われるが、価値はどのようなものかお伺い致します。

(3)旧国鉄用地で道路として、将来、利用することが望ましいと思われる所を町有地として、購入することは考えられないかについてお伺い致します。

○企画調査室長

(1)現在までの経過については、町が利用計画のある佐呂間駅構内、佐呂間駅構内から佐呂間小学校建設予定地までの線路、それから知来、浜佐呂間駅構内の支障物件は精算事業団と協議し、事前着工承認の手続きを行い、撤去しており、また、仁倉、床丹駅構内も今年処分予定ということで合せて支障物件の撤去が行われております。

今後の見通しについては、先般精算事業団より処分方針について説明があったところですが、駅構内及び線路用地、保安林用地については精算事業団から町で一括購入した上で、民間の希望者に処分する用地については

町政日誌

11月	町功労者表彰式典
3日	商工会網走ブロック
7日	婦人部員研修会
8日	母子会創立三十周年記念式典
11日	決算審査講評
11日	例月出納検査
15日	佐呂間町商工会青年部創立二十周年記念式典
19日	社会文教委員会学校調査
23日	新聞少年激励会
27日	心配ごと相談及び人権相談所開設
27日	第五回農業委員会
27日	年末調整説明会
28日	民生委員協議会々議



農林漁業

★乳検事業の振興に

ついて

○室井議員

本町の酪農振興について、町長は、三十年間にわたり町の基幹産業として極めて情熱的に取り組まれ、今日、本町酪農は全道的にも高い評価をされています。その努力に敬意を表します。さて、今日の農業事情の中で本町酪農といえどもその規模的条件等で苦しい経営を余儀なくされています。

加えて、牛乳の生産抑制、乳質の厳しい規制、さらに乳牛固体別の牛乳中の体細胞の数までが問題となり、国は補助金を出してまで淘汰を推進することとなりました。したがって、乳検事業は益々重要となつてまいりました。行革で明年度から町からの補助打ち切りと聞きますが以上の状況から見ても基幹産業振興、活性化のためにも補助金は存続させるべきと思いますが如何お考えでしょうか。

★佐呂間町長期振興計画の見直しについて

○千葉(四)議員

厳しい国際経済に即応した行政を執行することが当面の課題であると思います。目下、国土庁は、第四次全国総合開発計画北海道開発庁は、第五期総合開発計画、道は、現在、道議会の特別委員会や審議中の長期北海道発展計画、以上の国と道の計画をふまえて佐呂間町の長期計画を見直す必要があると思いますが、具体的についてお伺い致します。

○町長

町は現在、六十五年度までの総合計画を策定しており、六十五年以降の計画については明年度から国・道の計画内容を充分調査し、準備しなければならぬと考えておりますが、現在進めております町総合計画については、国・道の計画と関係ないものも入っておりますので、六十三年度から六十五年間にについてはそれなりに取り進めて行こうと考えております。

線道路につながる所と思われるが、道路の性格或いは構造の関係からどうしても必要ということにはならないと思っております。また、掘り割りにもなっており交通安全上支障があるのではないかと考えられますし、土地改良で道路も整備されておりますので町道にするということにはならないと考えております。

○定久議員

(3)遠回りすれば道路は確かに通っておりますが、元々、杉山さんの所へ町道が通っていたのが自然廃道になったものでありますので、将来的に考えて、それを路面改良等を行い町道にすべきでないかと考えられます。また、事故というものは、危険を感じるような所では起きなく、見通しが悪い所では一時停止もするでしょうし、良く確認もしますから、危険度があるから不適当ということにはならないと考えますが再度伺います。

○工営課長

(3)先程の答弁で了解いただきましたと思います。

あります。根元も傷んでおり非常に危険だと思われませんが、町としても一括取扱うよう要求すべきでないかと考えますが、再度伺います。

(2)価格決定については、その用地の利用度によつて決まるのが原則であり、町としても少しでも安い額を出し交渉すべきであると考えますが再度伺います。(3)線路用地の道路利用について他の地域にもあると思われませんが、町道と町道をつなぐ路線で北幹線道路と東十線道路であります。将来的に必要と考えられますので用地を取得して実現されるよう努力していただきたいと考えますが再度伺います。

○企画調査室長

(1)町としては春以来全線撤去について要請しておりますが、やはり今年度中には無理のようでありますので、支障のある所についてはできるだけ今年中に撤去してもらいたいということと要請いたしております。

(2)価格については、今後、精算事業団と折衝をして参りたいと考えております。

○工営課長

(3)道路の関係ですが、日光さんの所から国鉄用地を抜けて北幹

町から払下げ、また、用地の測量も町で実施するよう要請がありますので、一括購入した上で民間払下げをいたすべく取り進めて行きたいと考えております。また、電柱の撤去は、今年度中に私有地に立っているものを撤去したいということでありますが町としては耕作に支障のある電柱は今年中に撤去していただくよう要請をいたしております。また、線路用地の、レールの撤去については、六十三年中に処理することと伺っております。

(2)精算事業団では、本年度中に全用地の処分価格を決めたいということでありますが、まだ正式な価格提示がなく、提示があれば、町としても一括購入するということと現在取進めております。

また、払下げ希望者の取りまとめについても、自治会とも相談し、用地が残らないよう協力をいただくよう進めて行きたいと考えております。

(3)将来的に道路用地として必要とする箇所があるとすれば検討されると考えております。

○定久議員

(1)電柱の撤去については、今年度中に全部は困難ということと

○町長

このことについては、乳検組合からも既に何回か要請を受けており、町としても個体の売買等にとどのような影響があるのかについてもう少し詳しく調査したいと考えております。

本町の農業予算が、かなりのウェイトを占めている中で、同じ仕事に長期にわたって補助を行うことは、財政の硬直化或いは、時代の移り変わりに伴う新施策を講じようとする場合の障害になっておりませんし、また、この乳検事業は、実施する農家の受益的な仕事であり、組合加入戸数が全酪農戸数約三百二十戸ぐらゐのうち約百八十戸ぐらゐで、重要なものにしては加入率が低いこともあり、六十三年度予算編成までには、充分調査し結論を出したいと考えております。

★広域農道について

○千葉(清) 議員

北見市との広域農道について支庁の段階で計画が進められていると聞きますが、全体の構想等ルートや予算、延長等写真真がつまっていればお伺いします。

○産業課長

このことについては、昭和六十一年度に仁頃山を中心とした仁頃山地区広域農道整備事業という名称で構想が出され、事業診断対象となっており、支庁の対応につきましては六十三年度まで調査を行い、六十四年度には事業採択の予定で進めたいという考え方であります。

事業の起点は北見市富里で終点は佐呂間町栃木二十三線で道路の延長は、約十五キロメートルで、事業費は推定八十億円から九十億円になる見込みであります。

本町としては、財政負担問題本町に及ぼす経済効果或いは影響等といった将来展望に立ち北見市とも連携を取りながら慎重に検討して行きたいと考えております。

★農業問題について

○千葉(清) 議員

(1)酪農の低迷により、最近、酪農家が小麦等の作物を耕作するようになりました。小麦の総面積も年々増えて来ており、来年は、更に増えることが予想されており、酪農や水稲のように小麦も生産調整の心配もあり

農家は、今、不安な気持ちで経営している現状であります。今後、佐呂間町農業確立のためには、農業団体、農家等をどう指導していくのか基本的な考えをお伺いします。

(2)不安定な農業情勢の中で、後継者の問題、農用地の流動と負債の問題等について農業委員会の考えをお伺いします。

○町長

(1)この問題については、町行政も傍観視のできない問題であり、農協では、六十一年を基点として、七十年までの農業生産計画を立てており、この計画では酪農経営に重点を置いているようであります。町としても酪農は現在、生産調整等で厳しい状況にありますが、やはり将来においても本町農業生産の基幹をなすべきものでありますので、町営牧野の整備加えて土地改良事業を継続的に行って行かなければならないと考えております。

また、農業委員会にも現在まで土地改良事業で財政投資を行って来ている農地が休耕されていたり、有効に利用されていない問題に対し、早急に対策を立てて欲しいという希望を申し上げておりますが、全ての農地が

そうではありませんので、既定の土地改良計画に沿った事業を早く完成させ、生産環境或いは生活環境を整備して行きたいと考えております。

○農業委員会会長

(1)農地の流動化を進める上には生産性の向上、労働力、意欲の問題等を考慮していかなければならないので、その姿勢については、くずす訳には参らないと考えております。また、委員会の中には農政並びに農地部会を作っており諸問題について検討をかさねて参りたいと考えております。

(2)後継者問題については、今年度から産業課所管となり、農業委員会も入らせていただいた訳でありますので、協力を惜しまないよう努力して行きたいと考えております。

また、農用地の流動化については、現在、年金関係はスムーズに行っておりますが、売買についてはストップしている現状であります。

農地の価格は五十五年頃をピークに鈍化し、ここ三年くらい下降しており売買が低滞し、小作契約の傾向が出ておる現状であります。

それから、負債の問題につい

ては、管内でも多い方から三十番目ぐらゐで、売上額が上から二十七番目ということからも、そんなに心配することはない、何といえども意欲を失ってはならぬ農業委員会としても指導を行い、安心してやっていけるような体制を作っていかなければならないと考えているところであります。

★畜肉センター

設置について

○千葉(四) 議員

鋭意努力しておりますことは承知しておりますが、現状と見通しについてお伺いいたします。

○町長

現在と場は、週三日操業から五日制に切替えをしましたが、実際には、三・五日ぐらゐしか操業しておらず、このままではと場合計は赤字になってしましますし、又、現今の情勢下では町内で生産したものは町内で加工し流通市場に提供することが最も大切な手段であると考え、民間企業の誘致を取り進めておりますが、それらの施設の建設用地買収も含めまして進めて行きたいと考えております

観光

★総合保養地域整備法による地域指定について

○室井議員

この地域指定について、斜網地域が立候補しているとのこと更に、北見市も周辺町村を含めその動きがあるやに聞くが、本町としてはどのようにお考えか

○町長

この法律は、健全な余暇利用という意味で制定された訳でございますが、網走管内では、網走市、北見市、紋別市の三市がそれぞれ中心となり計画を策定し、周辺の町村に協力を求めているのが現状であります。

この法律は有効に利用出来る土地が十五万ヘクタール以下という広域な地域指定でありますので、本町といたしまして、早急に態度を決めなければならぬと考えております。

○室井議員

この法律の基本的な考え方を踏まえて見るならば、従来の観光開発と違った、非常に文化的な感じがある中味のような感じがする訳で、しかも、十五万ヘクタールという非常に大規模ということになると道内でもそういくつも指定は受けれないと考えられますが、三市がそれぞれ開発をねらい立候補するのは益々指定が困難になり、オホーツク圏全体という観点で協議して行くべきではないかと考えますが再度伺います。

○町長

これから余暇を有効に消費するという場合、本町のように国定公園の地域内におきましてもこの法律が制定されることによつてかなり積極的な開発発展がなされると考えますが、指定される地域は、面積が非常に大きく、また、施設内容が多岐に亘つており自治体では背負いきれない仕事になると考えております。

したがって、民間企業の資金を活用するようになる訳であります。指定に向けての運動を粘り強く行わなければならないと考えております。

★議会各委員会の動向★ (7月～9月号)

7月

2日～4日 産業建設常任委員会道内先進地視察(視察地及び目的)

上富良野町

一、食肉センターの運営並びに肉加工に係る消流体制について

二、議会の活動状況について

深川市納内農協

低温施設について

札幌市農林水産省北海道農業試験場

一、高蛋白(アルファルファ)栽培技術及び簡易草地改良対策について

二、バイオテクノロジーについて

8月

12日～14日 観光問題調査特別委員会観光調査(調査地)東京都

(調査内容)観光問題について

21日 議会運営特別委員会(審議内容)第五回臨時議会運営について

17日 議会運営特別委員会(審議内容)第六回臨時議会運営について

17日 産業建設常任委員会所管事務調査(審議内容)温泉ボーリングについて

26日 産業建設常任委員会管内町村調査(調査地)置戸町、丸瀬布町、白滝村

9月

(調査内容)温泉ボーリングについて

3日～5日 総務財政常任委員会道内優良町視察調査(調査地)中富良町、芽室町

(調査内容)一、財産管理の状況について

二、行財政の効率化、簡素化について

三、O・A化の状況について

四、議会の活動状況について

19日、21日 議会運営特別委員会(審議内容)第三回定例議会運営について

○室井議員

この法律に定められている税制上の特例について再度伺います。

○助役

課税の特例については、国税の場合、法人税の特別償却、初年度百分の十三、地方税は特別の土地保有税の非課税、事業所税では、新増設に係る事業所税の非課税及び事業に係る事業所

★観光客対応について

(浜佐呂間公衆トイレ)

○室井議員

浜佐呂間にも夏季には年を重ねて入り会いが増えて来ている。浜佐呂間駅舎のトイレが撤去されたのは、一般家庭や食堂などが大変迷惑を被っていると聞きます。適切な場所に公衆

トイレの設置が必要だと思いますが如何お考えでしょうか。

○町長

六十三年で配慮をいたしたいと考えております。

★観光開発に

ついて

○千葉(四)議員

道東の観光の拠点としてのサロマ湖を中心とした二十一世紀に向かつての具体的な構想についてお伺い致します。

○町長

先にご審議をしていただきましたものを中心にして佐呂間町の観光開発を進めて参りたく考えております。また、六十二年度から町で実施出来るものについては町予算を投入し取り進めておりますのでご理解いただきしたいと思います。

○千葉(四)議員

富武士・浜佐呂間間の保安林の開発について再度伺います。

○町長

保安林の開発については、六十二年事業として、国民宿舎

から東に二千六百メートル散策路を計画しており、四阿等 Builder することになっております。

明年は二千六百メートルの末端より海岸に出て国宿の方に帰って来る様なコースを設定いたしております。また、幌岩山に登る登山路も計画いたしたいと考えております。

河川

★佐呂間市街隣接の

河川の改修計画並びに河川敷地の遊園、スポーツ等開放について

○室井議員

標記河川の改修についてお伝数年前から度々説明されているところですが、永代橋架け替え工事との関連、また、現在、浜佐呂間、仁倉地区の佐呂間別川改修工事が施工されておりますが、同一河川であり下流から優

先であればそれも当然であろうが、市街地の汚水、悪臭対策もあり土現の計画を知りたい。

また、河川敷(市街地裏付近)を遊園、並びにスポーツのため開放がなされとの話がありますが、それは実現するのか。また、その整備についてどのように進められるのか。住民の方々も希望があるようです。関係機関との協議がなされているならば状況をお聞かせいただきたい。

○工営課長

土木現業所遠軽出張所にお聞きしました計画案についてお伝えいたします。

佐呂間別川改修工事の佐呂間市街地区は知来の境橋から元の桜橋まで、六十一年度に境橋から三百メートル、今年度は続いて四百メートルを実施し六十四年度には永代橋付近まで改修され、永代橋の架け替えは、六十四年度に仮橋を作り、六十五年年度に実施する計画になっております。

河川敷利用は、六十五年度から五か年で公園造成事業が計画され、内容についてはあくまでも案でございますが、サイクリングロードが約三千五百メートル、散策路が三千九百メートル

その他休養施設、遊技施設、運動施設等々五億五千三百万円の事業予算で計画しているようでございます。

それから、地域住民との協議については、今年五・六月の二か月で佐呂間別川流域の住民千戸を対象に約三十項目についてアンケート調査を行っております。現在、それを取りまとめておりますが、まとも次第地元自治会と協議し推進を計りたいということでもあります。

町としても是非事業を実施するよう要望をいたしております

教育

★栄小学校簡易

プールについて

○千葉(清)議員

昨年、第三回定例で請願のあった栄小学校の簡易プールは、社文委員会付託となり、その後委員会が採択となり、本会議でも可決されました。その後、教

育委員会でのこの問題についての対応をお伺いします。

○教育長

現在本町には若佐、佐呂間、浜佐呂間にプールを設置して運営いたしておりますが、今年の若佐プールの利用状況は若佐小学校が十一回、栄小学校が四回体育の授業として利用されておりますが、今年からバスの集中管理を実施しておりますので、授業時間、夏休み期間中に効率的な利用ができないものか、また、地域にプールのない学校との関連など総体的に検討しなければならぬ問題でなからうかと判断をいたしている訳でございます。

また、簡易プールといいますが、環境衛生面を配慮しなければなりませんので、経費については規模なり条件などで多少異なると思いますが、一平方メートルあたり約十五万円から二十万円位かかるようでありますので、財政的な問題等々、総合的に今後検討して行きたいと考えております。

サラリーマンの奥さん

国民年金の届出はお済みですか？

ご主人が厚生年金や共済年金に加入していて、そのご主人に扶養されている奥さんは「第三号被保険者」と呼ばれ、国民年金に必ず加入しなければなりません。

うになったときも、届出することが義務づけられています。これらの手続きは、役場年金係で取扱っています。

第三号被保険者の保険料は、ご主人の加入する年金制度で負担しますので、自分で納める必要はありませんが、「第三号被保険者」であることを必ず届出なければなりません。

その届出が二年以上遅れた場合、その期間は保険料の納付済期間としないこととなっています。

す。将来年金が受けられないなど不利益にならないよう、十分注意してください。また、加入後、ご主人が退職したり、奥さん自身が勤めるよ

保険料の納め忘れは ありませんか？

保険料は毎月末日までに
納めましょう

国民年金の保険料 は納めましたか？

国民年金保険料は納められましたか。いま一度、お手元の納付書をお確かめください。

国民年金は、老後の生活設計の柱であることはもちろん、不慮の事故に対する障害基礎年金

税のしるべ

●所得税における事業主報酬の 取り扱いの改正について

昭和六十三年分のみなし法人課税に係る所得税の額の計算については、昭和六十三年分の事業主報酬額のうち、昭和五十九年分から昭和六十一年分までの各年分の不動産取得の金額及び事業所得の金額の合計額を基礎として、算出した平均額の八十パーセントを超える部分の金額に対して法人税相当額が課税されることになりました。

●六十三年の事業主報酬の額 の変更手続等について

(一)事業主報酬の額の変更
「事業主報酬の変更の届出書」を、次の期限内に税務署長

遺族基礎年金がありますが、保険料を納めていなかったため、これらの年金を受けることができなくなつた方もいます。

いざというときのため、保険料は毎月必ず納めましょう。

あてに提出してください。なお、同一年分の変更の届出は一回に限られます。

- 昭和六十三年一月分から変更する場合……昭和六十二年十二月三十一日まで
- 昭和六十三年二月分から変更する場合……昭和六十三年一月三十一日まで
- 昭和六十三年三月分から変更する場合……昭和六十三年二月二十九日まで
- 昭和六十三年四月分から変更する場合……昭和六十三年三月十五日まで

(二)みなし法人課税の 新規選択について

「みなし法人課税選択の届出書」を、次の期限までに税務署長あてに提出してください。なお、「みなし法人課税選択の取りやめの届出書」を提出

したところのある事業主は、再び提出することはできません。昭和六十三年分について選択する場合……昭和六十二年十二月三十一日まで

(三)みなし法人課税選択の 取りやめについて

「みなし法人課税選択の取りやめ届出書」を、昭和六十二年十二月三十一日までに税務署長に提出してください。

▼その他

諸届用紙の請求及びみなし法人課税についてのお問い合わせは北見税務署(☎〇一五七一三三七一五)をご利用ください。

今月の納税は

町道民税(第四期)
固定資産税(第四期)です
国民健康保険税(第四期)

忘れずに納めましょう

☆十二月二十五日☆

まちの話題

社会保険庁長官表彰

国民年金事業

優良団体として

佐呂間漁業協同組合

納税貯蓄組合

十月二十七日、北見東急インにて、国民年金事業の発展に顕著な功績があった優良団体及び功労者の表彰式が行われ、本町から佐呂間漁業協同組合納税貯蓄組合が優良団体として「社会保険庁長官表彰」を受賞されました。



当納税貯蓄組合は、昭和三十六年四月国民年金制度発足以来国民年金制度の積極的な普及活動と組織の育成強化を図り、国民年金事業の運営に對し著しい功績が認められたものです。

励まし扶け

合った三十年

佐呂間町母子会

十一月八日、佐呂間町母子会が創立三十周年を迎え、記念式典が町民センターで行われました。

この会は、不幸にして夫を亡くされた方々が、お互いに励まし、扶け合ってそれぞれ立派な家庭を築こうと、昭和三十三年に発足され、現在六十四名の会員はこの会を心の支えとして長い間の苦難に耐え、お子さん方を立派に育てられてまいりました。

式典では、長期間役員として会の運営及び組織の強化に尽力された方々九名と、会員として会の運営に尽力された方四名に母子会長より感謝状が贈られました。

また、式典終了後、記念講演があり、講師に網走支庁地区社会福祉協議会会長宮田俊彦さんを招き、「わたしの生き様」と



題した講演を感慨深げに聞き入っていました。これを機に、本会が更に発展されることを祈念致します。

おめでとう

佐呂間町商工会

青年部 二十周年

十一月十五日、町民センターで佐呂間町商工会青年部の創立二十周年を祝う記念式典と講演会が開催されました。

商工会青年部は、昭和四十三年に商工に従事する青年が、地域経済の振興と資質の向上を目的に結成されたもので、現在まで毎年研修活動、花壇の設置など幅広い活動を行い、創立十周

年には、町交通安全と愛町購買運動を表わした記念塔を体育館前に建設しております。

記念式典では、これまでの功績と尽力に対し、歴代の部長に感謝状と記念品を贈呈するとともに、二十周年記念事業の一環として、町が来年造成する交通公園用の屋外時計の目録が町に進呈されました。

また、当日二十年間の歩みを綴った記念誌「針路」が出席者に配られ、青年部活動にかかわった人達が感慨深く目を通していました。

式典に続いて記念講演が行われ、講師に札幌の青木商事株式会社専務取締役の八柳鐵郎氏を迎え「すすきの男のこんな話」



と題し、あまり人に知られていない歓楽街に生きる人々の話に百余名の来場者は時間の経つのも忘れて聞き入っていました。講演のあと祝賀会が開かれ、先輩と現会員は懐かしい話が咲き二十十年の思い出をいつまでも語り合っていました。

毎日の新聞配達

「苦労様」

新聞配達少年

激励会

「勤労感謝の日」の十一月二十三日、町民センターにおいて新聞配達少年激励会が行われました。

この激励会は、毎日休みなく各家庭に新聞を配達する新聞配達少年の日頃の苦労をねぎらうために毎年行われているものです。

激励会では、町助役や来賓の方々から激励と感謝のことばがあり、また、新聞少年を代表し佐呂間中学校二年の木船孝幸君が、お礼のことばを述べました。その後、昼食をとりながら日頃の苦労話に懇談を交じえたあとクイズなどを行い楽しいひとときを過ごしました。また、この席上、新聞配達四年勤続の方、二名に表彰状と記念品が贈られ



ました。

これからの季節は、日暮れも早くなり、雪など道路事情も悪くなりますので、交通事故等には充分気をつけて頑張ってください。

◎四年勤続表彰者（敬称略）

- ・佐呂間高校三年 森 ゆかり
- ・佐呂間高校三年 久末 鉄也

中国の神髄に触れて

太極拳教室

十一月五日より二十六日までの毎週木曜日、町民センター及び老人福祉センターを会場に、太極拳教室が開催されました。講師にインストラクターの酒井守男さんを迎えて、十一の動

きを組み合わせた基本的な拳の「不老拳」や呼吸に合せた動きの「八段錦」を練習しました。太極拳教室は、本町では初めての試みでしたが、延八十名の受講生は、太極拳を家庭でも出来るように熱心に取り組んでいました。



昭和六十二年

納税貯蓄組合長

研修会

本年度の納税貯蓄組合長研修会が、十一月二十日、国民宿舎華苑で六十名が出席し開催されました。

この研修会は、町納貯連の事業の一環として毎年行われてい



るもので、今年度は、北見税務署長の林繁男氏による「税をめぐる諸問題」と題する講演が行われ、日本と諸外国との税負担の比較、モデル世帯の生涯収支や税の使われ方について説明がありました。二時間ほどに及ぶ講演に出席者は、熱心に耳を傾けていました。

モダンな歩道が

出き上がりました

佐呂間市街地区道路改良工事がほぼ終了し、十一月二十日、網走土木現業所事務部長をはじめ完成記念行事期成会長方によるテープカット、佐中、佐高生



によるプラスバンド演奏、二十二日にはジャンケン大会の催しが行われました。市街地を通っている道々留込薬・浜佐呂間線は三十年ほど前に舗装されたもので、最近はその路の傷みがひどく、冬場から春にかけて凍上の影響で凸凹や亀裂が目立っていました。このため、網走土木現業所遠軽出張所が本年五月下旬より路盤改良工事に着手していたもので、新しく舗装された道路は歩道を以前より広くし中央部の商店街では、五百六十メートルに渡って「インターブロック」で舗装をした外、植樹帯が設置され、町民から大変喜ばれています。

飲酒運転追放!!

重大事故を引き

起こす飲酒運転

絶対やめましょう!



社会教育だより

ギター生演奏による

「クリスマスコンサート」開催

教育委員会では、冬の夜長を

生の音楽で楽しんでいただこうと、町内三会場において、ギター生演奏による「クリスマスコンサート」を開催致します。

親子・恋人等お誘い合せの上ギターの音色をお楽しみ下さい。

○会場・期日

浜佐呂間公民館

十二月二十一日(月)

若 佐 公民館

十二月二十二日(火)

町民センター

○開演時間

午後六時三十分より

○奏 者

ギターリスト 平佐 修 氏

(札幌市在住)

○演奏曲目

・アルハンブラ宮殿の想い出

・歌と踊り

・プレリユード一番 他

・リクエストコーナー有り

○入 場 料 無 料

町民講座 公民館講座 のご案内

教育委員会では、本年度から

地区公民館で開催する講座を「公民館講座」、町民センターで開催するものを「町民講座」と名称を変更致しました。

今回募集する公民館講座は、次の通りですので、皆さんの受講をお待ちしています。

〓 パッチワーク教室 〓

会 場 若佐公民館

講 師 山縣 静代 氏(北)

鈴木笑美子 氏(北)

期 日 一月二十日、二十七日

二月三日、十日、十七

日(各水曜日、五回)

時 間 午後六時三十分より

対 象 高校生以上の方(高校生の場合送迎可の方)

定 員 二十名

材料費 二千円程度

内 容 クッションを作成

締切り 十二月二十五日

(定員になりしだい締切り)

申込先 教育委員会社会教育係

お知らせ

教育委員会では、一月下旬から二月下旬にかけて、次の町民講座、公民館講座を予定しています。「広報さろま」一月号で募集致しますので、楽しみにお待ち下さい。

町 民 講 座

○絵 画 教 室

○料理教室(味噌豆腐造り)

公民館講座(浜佐呂間)

○着物着付け教室

○籐工芸教室

教育講演会 のご案内

教育委員会では、少年時における家庭教育の重要性を理解していただくため、町PTA連合会と共催で、左記により開催する運びとなりました。どなたでも自由に参加できますので、お誘い合せのご来場を心からお待ちしています。(入場無料)

期 日 十二月十三日(日)

場 所 町民センター集会所

時 間 九時四十分から

講 師 小山 忠 弘 氏

元・佐呂間高等学校教諭

前・北海道立教育研究所

社会教育部副部長

現・道教育庁社教課長補佐

演 題 「子供達は今」

〓 学校・家庭・地域に求められるもの〓

バレエ演技講習会 文化講演会終了

十一月十四日、モントリオールオリンピック金メダリスト松田紀子氏を迎え、バレエボール演技講習会、文化講演会が開催されました。

演技講習会には町内の中学・高校のバレエ部員、ママさんバ



レーの会員等八十人が参加、アップの仕方にとまどいながらもまずオーバーパス、アンダーパス、スパイク等の基本の指導を受けた後、試合形式のフォーメーションに入り、最後はバレエの練習に取組む姿勢を話し、二時間三十分にあたる講習会を終了しました。



レーボールと取組んだ高校時代から全日本で活躍するまでの話や、山田監督の厳しさや優しさの思い出、トスの練習をしてくれた仲間が補欠となり、一緒にオリンピックに出られず、金メダルを半分にわけた話、又、そのメダルを持参し、会場の皆さんに見せたりの一時間三十分でした。百人程度の来場者で、若干淋しい講演会となりました。

秋の町民講座 好評のうちに終了

十一月初旬から開講されていた四つの町民講座が、十二月八日をもって終了しました。秋の町民講座はほとんどが定員をオーバーし、受講生は熱心に受講、技術を習得するとともに「人の輪」を広げました。

● 着物着付け教室 ●

十一月初旬から開したこの教室は、毎週木曜日、坂本ミチ講師のもと浜佐呂間や若佐から定員を大きく上まる二十七名が参加、襟直し、ウールの着方や色々な帯の結び方を学習、参加者全員一人で着れるようになりました。

● 七宝焼教室 ●

十一月十日に開講、十二名が



(七宝焼教室)

参加し、須貝徹講師のもと、自分のプローチ、ネックレスは勿論、愛する人のタイピンやカフス等見事な作品を仕上げていました。

● 女性のワープロ教室 ●

十一月十八日から三日間、昼間開催されたこの教室には十一人の主婦が参加、生まれて初めてワープロに触れる人もいましたが、文章、葉書、編集等を上手にこなしていました。



(女性ワープロ教室)

● 初心者ワープロ教室 ●

女性の教室と同じ日の夜間開催、高校生三、男性四を含む十三人が受講、日常ワープロを操作している方もいましたが、初心にかえりキーを操作していま

した。



(初心者ワープロ教室)

本町で初めてのワープロ教室に、各教室とも定員をオーバーし、各教室の方も仕事終了後に熱心に受講されていた姿が印象的でした。

ちびっ子文化教室

鮮やかな作品が

十月二十四日町民センターでガラスの粉を高温で溶かして作る七宝焼教室が開かれ、定員の二十名が、プローチ作りに挑戦しました。七宝焼は、失敗することがなく誰でも簡単に短時間で完成でき、町民講座の中でも実施されています。色とりどりのプローチの中には、大人顔まけの作品もありました。帰りに、それぞれの胸にはしっかりと世界に一つしかないプローチ

が、とりつけられていました。



(七宝焼教室・町民センター)

ちびっ子文化教室の第二弾版画教室が、十一月一日町民センター、七日浜佐呂間公民館、八日若佐公民館の三会場で実施され、延六十人の小学生が来年度の年賀状を印刷しました。



(版画・町民センター)



(版画・浜佐呂間会場)

思い思いのデザインをゴム版の上に写し、彫刻刀を持つ手は多少危なっかしい様子でしたが来年のえとの辰が沢山影りあがり、その後、赤、黄、紺などのインクをのせ、色鮮やかな年賀状が会場狭しと並べられました



(版画・若佐会場)

この文化教室で印刷した年賀ハガキが、お宅にも元旦に配達されるかもしれません。

お知らせ

町や関係機関からの
お知らせ、行事の案
内をのせています。

納税推進

強調月間です

道では、道税の意義と役割を
広く道民の皆さまに知っていた
だき、税負担の公平と収収の確
保を図るため、「納税推進強調
月間」を設定して主要税目の納
税推進に取り組んでいます。

十二月は、第二次納税推進強
調月間として、特に不動産取得
税と料理飲食等消費税を重要税
目に定め、滞納の解消に努めて
います。

滞納をしますと、滞納整理に
必要な費用が皆さんの納めた税
金の中からかかるだけでなく、
道がいろいろな事業を進めるう
えで大きな障害となります。
皆さんの暮らしの中に生かさ
れている道税についてご理解の
上、納税にご協力ください。

雪害に備えましょう

今年もまた雪の時期を迎えま
した。

道路の除雪をはじめ各種の雪
害対策を講じておりますが、町
民の皆さんも雪に備え、次のこ
とを心がけましょう。
・大雪や吹雪に備え、食糧や燃
料を蓄えておきましょう。

・火災など万一の場合の避難路
確保のため、通路の除雪に務
めましょう。
・落雪事故防止のため、屋根の
雪おろしをしましょう。
・特に車の故障の多い時期です
ので、日頃から車の点検をし
ておきましょう。

最低賃金が改正されました。

道内のすべての事業所で働く
労働者に適用される北海道地方
最低賃金が、次のとおり改正さ
れました。

時間給 440円
月給 4,400円
発効年月日 六十二年十月一日

地域包括最低賃金

日額 三千五百十六円

〇〇一三二一九六一に
お問い合わせください。

北海道の産業別最低賃金 (昭和62年度改正)

最低賃金 の件名	最低賃金額		発効 年月日
	日額	時間給	
食料品、飲料 飼料製造業	3,970	497	62.11.12
	3,560	445	
繊維産業	3,847	481	
木材、木製品 家具、装飾品製造業	4,054	507	
	3,580	448	
パルプ、紙 紙加工品製造業	4,182	523	
	3,594	450	
出版、印刷 同関連産業	4,102	513	
窯業、土石 製品製造業	4,054	507	
機械金属製品 等製造業	4,116	515	
	3,604	451	
卸売業	3,869	484	

・路上駐車や故障車の路上放置
は、除雪の障害になるので絶
対にやめましょう。
・車の中には、常にスコップや
チェーン、けん引ロープ等を
用意しておきましょう。

ホームステイ

受入れ家庭希望 調査について

近年、市民レベルでの国際交
流が進展するにつれて、来道外
国人と道民とが直接接し、お互
いの文化、習慣等を交換するこ
とができるホームステイの要望
が非常に高まってきており、ま
た、訪問希望地も全道各地に広
がってきています。

道では、これに対応するため
受入可能な家庭の状況を全道的
に調査して、国際交流の推進に
役立てようと次のとおり調査が
実施されることになりました。

調査対象

国際交流に関心があり、ホー
ムステイ希望者の受入れに協
力可能な家庭

調査方法

役場企画調査室に登録票があ
りますので、登録を希望され
る家庭は、ご連絡願います。

ブルーム・ボールチーム募集!!

職場の仲間同志、友人のグループ、何でもかまいません。

チームを組んで参加してみませんか?

競技内容等詳細については、役場 上高 邦俊 まで
佐小 細坂 賢一

▼受付期間

六十二年十二月十九日まで
※詳しくは、役場企画調査室企画係までご連絡願います。

厚生年金保険 健康保険に加入を

昭和六十二年四月一日から健康保険法、厚生年金保険法の一部が改正になり、従業員三名以上の法人事業所に働く人はすべて健康保険と厚生年金保険の加入が義務づけられました。

加入など詳しくは、北見社会保険事務所（☎〇一五七―二五一九六三）へお問い合わせください。

出稼ぎに出る前に 加入しましょう

道では、出稼ぎされる方が安心して働けるように、出稼ぎ中の傷害に対する共済制度を設けています。

ご家族の生活を守るためにも出稼ぎに行かれる前にぜひ加入しましょう。

▼加入できる方

道内に居住し、季節により居住地を離れて働く方。

▼加入期間

働く期間に応じて、一か月から十二月まで自由に選べます。

▼保険金額

五十万円から三百万円まで、五十万円ごとに六種類あります。

▼保険料（掛け金）

月額三百五十円から月額二千五百円まで。

なお、道などが掛け金の一部を補助します。

▼保険金の種類

死亡、医療（入院、通院）、遺障害保険金

▼加入手続き及び問い合わせ先

役場民生課社会係
☎二一三三―一

ガスもれ警報器の 訪問販売に ご注意!!

「定期点検に来たので、お宅の警報器を見せて下さい」「農協の依頼で来ました」と言ってきたか、今の取引先や公的団体から派遣されたように話し、ガスもれ警報器を訪問販売している

る例が多く見られます。

設置されていない家庭には「設置する義務がある」また、すでに設置されている家庭には「X年で取り替えなければならぬ」と言われて二万円前後のガスもれ警報器を買わせると言ったものです。

このような訪問販売には、次のことに気をつけましょう。

- ・一般家庭には、ガスもれ警報器の設置義務はありません。
- ・高圧ガス保安協会の検定合格証がある商品か確かめる。

冬期間の交通安全について

本格的な冬を迎え、積雪や凍結などにより交通環境が悪化し交通事故が多発します。

運転者も交通ルールを正しく守り、交通事故を防ぐため次のことに注意しましょう。

- ・積雪、路面凍結など冬道の特徴性を十二分に考慮し、スピードを落して運転しましょう
- ・制動距離が長くなるので、車間距離は夏の二倍以上に保ちましょう。
- ・日没が早く、見通しも悪くなるので、早めにライトをつけて走行しましょう。
- ・年末年始は飲酒の機会が多く

- ・一般的にガスもれ警報器は八千円前後の価格である。
- ・リースも行われているが、一か月二百五十円前後の料金である。

- ・検定品の保証期間は四年です
- ・リースの場合、交換は無料です。

また、購入は一人で決めず家族、知人に相談し、現金払いはいらないこと等を心がけましょう。このような、悪質商法についての苦情や相談は、網走支庁消費生活相談所（☎〇一五二―四

なります。飲んだら絶対に運転しないことを徹底しましょう。

- ・冬道の路上駐車は、歩行者や他の車にとっては大変危険なばかりではなく、除排雪の障害となりますので路上駐車は絶対やめましょう。
- ・夕方や夜間に外出するときは運転者の目につきやすい服装と、夜光反射材を着用して事故防止に努めましょう。

- ・子供や老人の夜間の一人歩きはなるべく避けましょう。
- ・やむを得ず外出するときは、保護者等が同伴しましょう。

季節労働者 福祉資金について

季節労働者の皆さんが、医療や教育など不時の出費でお困りの時、必要な資金の一部を融資する季節労働者福祉資金制度をご利用ください。

▼融資を受けられる方

雇用保険法の短期雇用特例被保険者で、道内に居住し、毎年一定期間、同一企業に継続して勤めている成人の方

▼融資を受けられる資金

医療、災害、教育、慶弔、住宅補修、耐久消費財購入資金

▼融資できる金額

三十万円まで
年利四パーセント
（別途保証料が必要です）

▼返済方法

二年以内（元利均等割賦）

▼取扱い金融機関

北海道労働金庫、各信用金庫
本支店

▼問い合わせ先

取扱い金融機関又は、網走支庁商工労働課（☎〇一五二―四四一七―一七）

四一七―一七）をご利用ください。

成人おめでとう ございます

昭和六十三年一月十五日に実施される成人式に該当される方は、次の方々です。

なお、名簿につきましては、

自治会長、補助員の方を通じて確認しておりますが、この名簿からもれている方、住民票を町外に持っていない方、佐呂間町において成人式を行いたい方は、教育委員会・社会教育係（☎二二二五五）へ、十二月二十五日までにご連絡ください。本年度の成人式該当者は、昭和四十二年四月二日から昭和四十三年四月一日までに生まれた方です。

〈共立〉

吉本薫 柏尾仁美

〈大成〉

渡部恵理子

〈栄〉

寶里真由美

〈栃木〉

阿部登喜枝

〈中園〉

宮坂則子 廣田恵子

〈若佐〉

堺哲也 山口環 高崎則康

田村健二 増子久美

〈西富〉

神田和善 宇佐ゆかり

高橋春美 高橋由希子

井谷浩一 山腰博 井上敏明

佐藤智恵 佐藤充 土門武史

中西由己子 山本倫代

〈北〉

梶道明 丸山睦美

〈宮前町〉

切田健 平谷由美 大出しのぶ

齋藤厚子 野村寿宏 岸本信幸

澤井智美 高橋厚子 横山真也

中南朋子 山原かおり

〈永代町〉

一戸寛子 菊池昌代 土本千晶

弘内充 向井清子 谷出和浩

鎌田由鶴

〈幸町〉

東海林二佐枝 根本由起

〈東〉

梶政利 片平ひとみ 山本泰子

〈知来〉

市村晴美

〈仁倉〉

阿部幸江 廣瀬晃二

〈浜佐呂間〉

中山弘子 伊藤多恵子 夏川誠

齋藤哲伸 部田照美 加藤広彦

住吉亮二 浅井茂 中村竜子

〈幌岩〉

本田由美 城岡睦美

〈富武士〉

安藤美雪 木松由美子

宮下雅人 室井久志

〈若里〉

横山緑 橋本裕文 宗像智子

篤志寄付

（開基百年記念事業基金として）

一金 三十万円

幸町 紅露 政一氏



この度、幸町、紅露政一氏から「開基百年記念事業に役立ててください」と三十万円の寄付がありました。たいへんありがとうございます。

寄贈

（交通公園用屋外時計）

佐呂間町商工会青年部



この度、佐呂間町商工会青年部から、同青年部創立二十周年を記念して、屋外時計の寄贈がありました。この時計は、来年度建設予定の交通公園内に設置される予定です。たいへんありがとうございます。

ぼくとわたしの作品

今月は知来小学校のお友達のお作品を紹介致します。

童話

五年 沢田由美

童の字の横画は、上にそらす
下にそらすなど変化をつけると
すばらしい字になります。
名前もよく書けています。



二年 川村 清佳
アヒルの子が、ほんとうにか
わいそう。
ひよこのさわいでいる鳴き声
が聞こえるようです。

じひ雲

六年 片平 浩司

一字一字気を入れていていい
に書かれた作品です。
横画も右上がりによくまとめ
てあります。



四年 芹沢 悠佑
りゅうの目から飛び出した男
の子の様子、迫力があっていい
ですね。

交 差 点

▶昭和62年 交通事故発生状況

(11月末現在)

発生件数	7	(12)
死者数	0	(3)
負傷者数	7	(10)

()内61年同期

▶交通事故死ゼロ500日目標

達成日 昭和63年3月15日

11月末現在 394日です

▶昭和61年度交通安全標語入選作

ゆきだよ人も車もきをつけよう。

(富武土小 名雪 仁)

ゆっくり走ろう、安全家ぞく

(知来小 竹内 昌子)

冬の道 注意の上にまた注意

(佐呂間小 梅田 利幸)

ベビーフェイス



北 区

長 女

愛 ちゃん

小畑 勲さん

昭和六十一年十月九日生

昨年十月九日に生まれまし
た長女の愛です。お母さんの
牛乳の飲みすぎでアレルギー
になってしまい、乳製品、卵

製品は食べられませんが元気
いっぱいです。

日中は、お母さんが家にい
ないので、大好きな鈴木のお
ばさんと一緒にいます。ハー
イのお返事やマンマ、バイバ
イなどいろいろなことを教えて
もらっています。

秀太にいちやんの影響でプ
ーやビストルと乱暴な遊
びなどが大好きです。お父さ
んは女の子なんだからと、や
ることなすことハラハラして
みているのですが、お母さんは平
気なようです。お兄ちゃんに
鍛えられて、強く、たくまし
い女の子になろうと思ってい
ます。どうぞよろしく。

歳末防犯運動中!!

- 年末年始の犯罪、少年非行の防止
- 暴力団の取締
- 雑踏事故の抑止

12月1日～12月31日

編集室

十一月号十二ページの欄中
に誤りがありましたので、深
くお詫び申し上げますととも
に訂正させていただきます。

▼離町に際して

正) 身体障害者福祉協会佐呂
間分会へ 佐々木忠正さん
誤) 社会福祉協議会へ
佐々木忠正さん

ご寄付

ありがとうございます

●香典返しを廃して

●社会福祉協議会へ

(亡母ミヤ子さん)

永代町 宮田 良夫さん

(亡夫清一さん)

若里 安田 トヨさん

(亡夫美教さん)

知来 中原 和香さん

(亡長男敏政さん)

中園 門崎美恵子さん

(亡母ヤイノさん)

宮前町 清治 青春さん

(亡父友吉さん)

富丘 片山友三郎さん

(亡母貞子さん)

大成 松木 勉さん

(亡母ナツキさん)

西富 谷口 正之さん

(亡義母たまさん)

仁倉 矢吹 英子さん

(亡父重森さん)

津別町 国分 昭一さん

(亡夫幸男さん)

西富 武田ナツ子さん

(亡父悠八さん)

仁倉 中津川幸男さん

(亡母ヤイノさん)

宮前町 清治 青春さん

(亡父友吉さん)

富丘 片山友三郎さん

(亡母貞子さん)

大成 松木 勉さん

(亡母ナツキさん)

西富 谷口 正之さん

●栄小学校へ

(亡母貞子さん)

大成 松木 勉さん

(亡母ナツキさん)

西富 武田ナツ子さん

(亡父悠八さん)

西富 谷口 正之さん

(亡母ヤイノさん)

宮前町 清治 青春さん

(亡父重森さん)

若里 安田 トヨさん

(亡夫幸男さん)

若里 中津川幸男さん

(亡母ヤイノさん)

佐呂間老人クラブへ

(亡父悠八さん)

仁倉 中津川幸男さん

(亡母ヤイノさん)

宮前町 清治 青春さん

(亡父友吉さん)

富丘 片山友三郎さん

(亡母貞子さん)

大成 松木 勉さん

(亡母ナツキさん)

西富 谷口 正之さん

年末年始の執務について

年末年始の執務について、次のとおりお知らせします。

◎役場

御用納め 十二月三十日

御用始め 一月六日

◎町民センター・図書館・体育館の休館

十二月二十九日～一月五日

◎老人福祉センター・児童館の休館

十二月三十日～一月六日

◎若佐診療所の休診

十二月二十六日～

一月十日

◎若佐歯科診療所の休診

十二月三十日～

一月四日

◎町営バスの運休

十二月三十一日

第三便のみ運休

一月一日・二日

全便運休

一月三日

第一便のみ運休

第二便より平常運行

栄

帯広市

端野町

小清水町

釧路地方裁判所

得川 勝己さん

大美 幸司さん

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

立図書館

私たちのまち

人口	8,330	(前月比)
男	4,022	(+1)
女	4,308	(-11)
世帯数	2,582	(±0)

10月31日現在